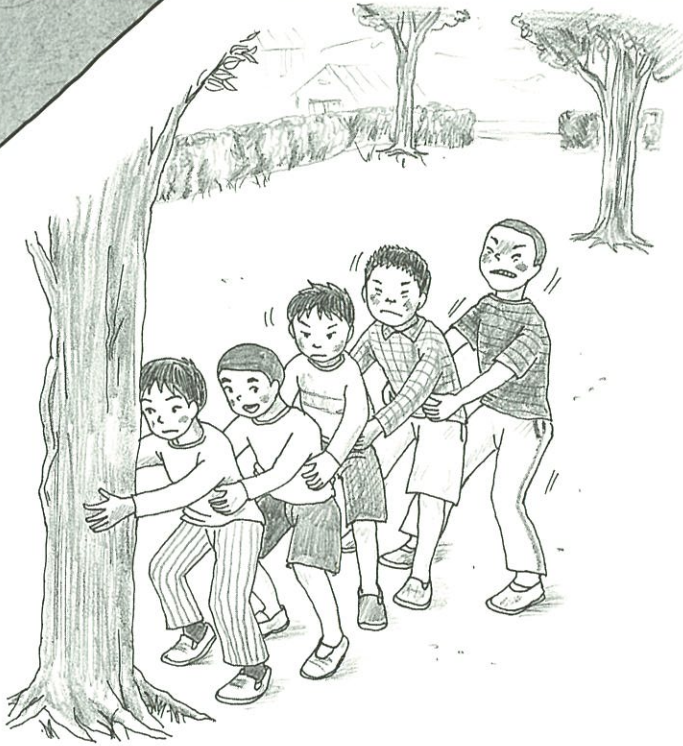


たけのこ1本おくれ



たけのこが美味しい季節になると、こんなかわいい遊びを楽しんでいます。たけのこ掘りに行ったことがない人は、たけのこ遊びを楽しんでみてはいかがでしょうか。

《遊び方》

たけのこ1本(いっぽん)おくれ まだ芽(め)がでないよ
たけのこ2本(にほん)おくれ まだ芽がでないよ
たけのこ3本(さんぽん)おくれ まだ芽がでないよ
たけのこ4本(よんほん)おくれ もう芽がでたよ

- ① オニがたけのこを抜く役になり、「たけのこ1本おくれ」といい、問答の歌でゲームが始まる。



- ② オニ以外の子はたけのこの役になって、先頭が木などにしっかりつかまり、あとはみんな前の子の腰にしがみつくと。まだ準備ができていないときは「まだ芽がでない」と答える。準備ができたなら「もう芽がでたよ」と答え、たけのこ抜きが始まる。



- ③ オニは、最後尾の子の胴を「よいしょ よいしょ」と引っぱって、列から切り離す。たけのこは抜かれないようにがんばって踏ん張る。



- ④ 抜けたら「たけのこ1本抜けた」と歌いながら、その子を自分の陣地に連れて行き、さらに続ける。

運動を楽しむ

たけのこ1本おくれの語源

鬼あそびには単純なものから複雑なものまで、数多くの種類がありますが、これは「子とり鬼」の1つで、他にも「ことろことろ」(P66~67)「花いちもんめ」(P84~85)などがあります。また、世界各国にも「鶯鳥の行進」(ドイツ)、「鷹と鶏」(中国)、「糸売り」(インド)、「トムペーテの通り」(メキシコ)など、子とり鬼の形式の遊びが多くあるそうです。鬼が子をひっぱる姿がたけのこを抜く姿に似ていることから、この名前がつけられました。たけのこは「筍」とも書きますが、この字の意味は「竹の旬」。地上に芽が出て1旬(10日)の間だけがたけのこの旬で、それ以上日を経つと竹になってしまうことを意味しています。